



# ふれあい 放水路

2006  
(平成18年)  
第143号  
2月



▲寒さに凍える桜並木 (出雲市馬木町)

## 冬将軍到来

連日、厳しい寒さに見舞われ、各地で軒並み氷点下を記録するなど、いよいよ冬本番といった折、山陰にも冬将軍が到来しました。馬木吊橋を望む、国道一八四号沿いの桜並木も雪化粧をし、辺りはすっかり冬景色に染まりました。

このところの異常気象の影響が今年度は重なる寒波が襲来し、新潟では、観測史上最高の積雪を記録するなど、日本海側を中心に記録的な大雪に見舞われました。

このため、家屋の倒壊や、事故が相次ぎ、また、交通機関が混乱するなどして、各地で多大な被害が発生しました。こんな時、私たちは身をもって自然の脅威を思い知らされます。

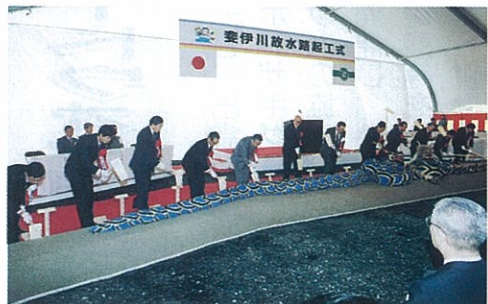
厳しい冬の最中、やがて訪れるうららかな春が今から待ち遠しいものです。

# 斐伊川放水路事業のあゆみ

## ～これまでの工事を振り返って～

斐伊川放水路事業は、平成6年の起工式以来、地域の皆様のご理解とご協力により順調に進み、今年で11年目を迎えました。今月は、これまでの事業のあゆみを現場写真等で振り返ってみようと思います。今後ともご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

斐伊川放水路起工式(平成6年5月)



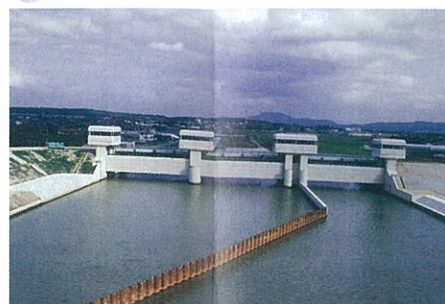
「平成のおろち退治」と銘打った斐伊川放水路事業の起工式が、関係者およそ350名出席のもと、盛大に行われました。

神門塚橋開通(平成7年10月)



斐伊川放水路事業に伴い、新設及び改築される25橋のうち、第1号となる橋が開通しました。

新内藤川水門完成(平成10年11月)



平成7年より着工した大きな構造物、新内藤川水門が完成しました。以前のものに比べ、幅がおよそ2倍、高さがおおよそ3.4倍と大きく生まれ変わりました。

半分大橋開通(平成11年12月)



開削部で初となる橋が開通しました。特徴的な親柱と高欄は、八俣の大蛇退治になぞらえて、「平成のおろち退治」をイメージして造りました。

第1回「1000年の森づくり」植樹祭開催(平成12年7月)



出雲市、島根県、出雲河川事務所の共催により毎年開催している植樹祭は、この年からスタートしました。植栽方法を指導して下さった宮脇昭先生には第1回から毎年ご参加頂いています。

新内藤川水門・排水機場運用開始(平成15年7月)



新内藤川水門、排水機場が運用開始となりました。現在、施設内には3基のポンプが設置されていますが、斐伊川放水路が完成するまでに、もう1基設置することになっています。

埋蔵文化財調査終了(平成15年1月)



古志本郷遺跡土器群の出土(平成11年度) 平成3年から始まった調査は、およそ11年の歳月をかけ、48遺跡跡約32ヘクタールにわたって行われ、全国的にも珍しい貴重な遺物が数多く発見されました。

古志大橋・新崎屋橋開通(平成13年4月)



平成7年より着工した古志大橋と、新崎屋橋がそれぞれ完成しました。

馬木新大橋(農道橋)完成(平成13年2月)



平成11年より、島根県出雲農林振興センターにより工事が進められていた農道橋が完成しました。

くびき海岸大橋(農道橋)完成(平成15年3月)  
残土処理計画地(クリンステップ事業)の補償契約の締結完了(平成15年3月)  
大田橋完成(平成15年3月)  
寺田橋開通(平成15年6月)  
新内藤川排水機場概成(平成15年3月)

放水路事業の移転家屋四三七戸の補償契約の締結完了(平成13年9月)  
国土庁 葦川水系河川整備基本方針策定(平成14年4月)  
島根県 葦川水系河川整備基本方針策定(平成14年4月)  
葦川放水路の保全橋に関する基本方針策定(平成14年6月)

清水前橋完成(平成13年3月)

馬木吊橋開通(平成16年3月)



神戸川の風景を特徴づける馬木吊橋がより安全で頑丈な橋へ生まれ変わりました。

神戸堰起工式(平成16年10月)



全国的にもめずらしいアーチ形状を持つ神戸堰の改築が始まりました。旧堰の特徴を生かし、新しい堰の下流側にこのアーチを復元する予定です。

木の村橋完成(平成16年5月)

山陰本線葦川橋梁着工(平成17年6月)  
境橋完成(平成17年3月)

馬木大橋開通(平成15年10月)  
妙見橋開通(平成15年7月)

空から眺めた斐伊川放水路

着工前 違いがお分かりいただけますか? 現在

# ふれあい放水路

## 通信

# バードウォッチング 2006 開催

二月十一日、出雲市園町にある宍道湖グリーンパークで、ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館「ゴビウスの協力のもと、『バードウォッチング06』を開催し、参加者五十四名のみなさんとともに、野鳥観察等を楽しましました。

この日は、野鳥観察と併せ、ゴビウスのバックヤードも見学してもらいましたが、普段見ることの出来ない水槽の裏側やその管理等についての説明を受けながら、みなさん熱心に見入っていました。

見学会の後、参加者のみなさんにアンケートに答えていただきましたが、「めずらしい鳥が観られてよかった」、「次回も参加したい」等の声をいただきました。



▲屋外での野鳥観察風景



▲「ゴビウス」バックヤード見学の模様



▲出雲ドーム前を駆け抜けるランナー達

# くまびきマラソン大会開催

二月十一日、「くまびき神話」にちなんで毎年開催されている『くまびきマラソン大会』が開催され、厳寒の出雲路を、老若男女合わせておよそ二、五〇〇人が駆け抜けました。レースは、出雲ドームを発着点に、一五キロ、三キロ、五キロ、十キロ、ハーフマラソンのコースに分かれて、年齢別、男女別の部で展開され、ランナーたちは自慢の健脚を競いました。また、ボランティアの方々との伴走もあり、沿道の声援を受けながら見事ゴールして、大会関係者等のねぎらいを受けました。

# 写真募集のお知らせ

身近な風景や季節の風物詩、神戸川などに関連する写真をお送り下さい。またその写真に簡単な説明を添えていただくと喜びます。お送り頂いた写真は本誌「ふれあい放水路」の表紙等に使用させていただきます。

なお、写真をご提供頂いた方には記念品を贈呈いたします。

みなさまからのご協力をお待ちしております。

**※写真はご返却いたしません**

**\*お問い合わせ・送付先**

国土交通省出雲河川事務所

工務課へ担当/事業対策官

Tel 0853(2)1850



国土交通省中国地方整備局  
出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp  
ホームページ http://www.izumokasen-mlit.go.jp/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当  
放水路推進室 事業対策官